



©Yuki Asada

アフリカのママの思いを運ぶ

身に着けるだけで、その鮮やかな色使い、独特の模様が目を引くアフリカの布「カンガ」。現地の女性たちは、その日の気分に合わせておしゃれアイテムを選ぶ。それが朝の楽しみでもあるのだ。

アフリカに住んでいた時にカンガの魅力に取り付かれ、自分用にと買いためていたという小林純子さん。日本の人たちに、明るく元気なアフリカをもっと知ってもらいたい。そんな思いで帰国後に「Mama Africa」を立ち上げ、カンガをはじめアフリカの布を使った洋服や雑貨を販売している。

商品は全て手作り。ケニア人の“ママ”に作ってもらうもの、小林さんが手作りするものがある。「ケニアのママはシ

ングルマザーなので子育てをしながらの作業ですが、とても丁寧に仕上げてくれるんですよ」と小林さん。電気が通っていない家の中で、足踏みミシンを使って作業している。小林さん発案の浴衣や帯、日傘など、日本とアフリカを融合させた“オンリーワン”の商品も魅力だ。小林さん自身も一児の母。子育てとの両立は大変だが、「大好きなカンガのものづくりに携わることができて幸せ」と語る。

これからはケニアだけでなく、他のアフリカの国々のママたちとも一緒に仕事ができるようになりたい。それが小林さんの夢。アフリカの“ウーマンパワー”が詰まった商品の数々、ぜひ一度手に取ってほしい。



日本国内のイベントでも鮮やかなカンガの商品は大人気!

- ★アフリカの雑貨を8人にプレゼント!
→詳細は38ページへ
- ★製品の販売情報はホームページ
(mama-africa.shop-pro.jp/)まで

